

安全で安心なまちづくり協議会

習志野警察署

犯罪発生状況

刑法犯認知件数

千葉県

平成14年	約168,000件(戦後最悪)
平成29年	約 53,000件(前年比－7%)

習志野市

平成12年	約5,400件(最盛期)
平成14年	約5,000件
平成29年	1,538件(前年比－8.6%)

千葉県も習志野市も犯罪の

75%が**窃盗罪**です。

昨年しねんの習志野市

罪種別発生状況

第1位

自転車盗

約460件(約30%)

(前年比－8%)

第2位

万引き

約250件(約16%)

(前年比＋18%)

第3位

侵入盗(空き巣、忍び込み等)
90件(前年比—約30%)

第4位

車上ねらい(車両、自転車等)
61件(前年比—約50%)

今年は何？

平成30年(1～7月末)速報値

- ・千葉県 27,000件
(前年比－11.6%)
- ・習志野市 829件
(前年比－2.7%)

罪種別発生状況

1位	自転車盗	(245件)
2位	万引き	(119件)
3位	置引き	(61件)
4位	車上狙い	(50件)
5位	侵入窃盗	(48件)

防犯対策

何をすればいいでしょうか

自転車盗対策

盗難自転車の半数以上は無施錠です。

- 1 鍵は必ず掛ける
- 2 鍵は二つ付ける(ツーロック)
- 3 家の敷地内でも鍵は掛ける

* 面倒くさがらない

オートバイ盗難対策も同じです。

自転車盗は許さん



特別警戒実施中
重大な犯罪

自転車盗は刑法第235条の窃盗罪に該当し10年以下の懲役又は50万円以下の罰金

習志野警察署管内職場警察連絡協議会・習志野警察署

車上ねらい対策

- 1 貴重品（お金等）は絶対に置かない
- 2 カバン類も置かない
- 3 万が一置く場合は、
車外から見えないようにする

*** 犯人は窓ガラスを割ります！**

侵入盗対策

- 1 戸締まりを忘れない
- 2 閉めてある窓は鍵を掛けておく
- 3 入られやすい場所には補助錠
- 4 雨戸があれば、雨戸は閉める
- 5 センサーライト、防犯カメラを付ける

*** 盗まれた物は返ってこない！**

電話de詐欺

発生状況

千葉県

•平成26年	1,135件	被害額	約47億円
•平成27年	971件	被害額	約30億円
•平成28年	1,104件	被害額	約23億円
•平成29年	1,517件	被害額	約31億円
(約23億6千万＋7億5千万)			

習志野市

•平成26年	41件	被害額	約1億円
•平成27年	25件	被害額	約6千万円
•平成28年	30件	被害額	約1億3千万円
•平成29年	79件	被害額	約2億1千万円 (約1億6千万円＋5千万円)

平成30年7月末 電話de詐欺発生状況 (暫定値)

・千葉県

758件 約11億2千万円

(前年比－33件、被害額約－2千万)

・習志野市

38件 約3,800万円

(前年比±0件、被害額－8,200万)

電話de詐欺 手口

- オレオレ詐欺～息子や孫、甥等の親族を騙る
市役所、銀行、警察官等を騙る
- 架空請求詐欺～「未納料金があります」
「裁判になる」等のハガキ、メールが来る
- 還付金詐欺～「医療保険の還付」「税金の還付」等がある
ATMに誘導する→ATMを操作させる→振り込ませる

最近流行の手口

「キャッシュカードを預かる」

預かる理由

「あなたのカードが使われている」

- 1 デパート、電気店員を騙る
- 2 銀行、銀行協会員を騙る
- 3 警察官を騙る

電話de詐欺は日々 進化している。

電話が架かってきて、お金やカード
の話が出たら詐欺と思ってください。

電話 + お金・カード = 詐欺

電話de詐欺撲滅に向けた 取り組みについて

「電話de詐欺緊急対策室」 の設置

- ・期間 平成30年4月1日～
- ・体制 対策室長(署長)以下193名

「配食安否確認サービス」 を活用したチラシ配布

市福祉部高齢者支援課が実施している「配食安否確認サービス」に係る高齢者のネットワークを活用

配食事業者に「電話de詐欺」の広報啓発チラシの配布を依頼して未然防止を図っている。



防犯のぼり旗の設置

・「STOP！電話de詐欺」の防犯のぼり旗を

○当署管内の7駅

（JR～津田沼・新習志野、京成～津田沼・谷津・大久保・実籾、
新京成～新津田沼）

○コンビニエンスストア4店舗

（セブンイレブン、ファミリーマート）

に設置し注意喚起を実施。



医療機関への防犯協力依頼

「電話de詐欺は電話de対策」
のチラシを管内の医療機関
(総合病院、診療所、内科消
化器内科、整形外科等)
45カ所に配布し掲示依頼を
実施した。



管内金融機関に対する協力要請

- 管内銀行、郵便局等金融機関30カ所に対して、「改正声掛けマニュアル」を配布し、高齢者が高額現金の引き出しの際の通報依頼を実施し、金融機関での水際対策の強化を図った。

電話de詐欺通報協力員(店)ステッカーの配布

- ・対象 通報員～高齢者、高齢者同居世帯
通報店～コンビニエンスストア、
金融機関等の事業者
- ・目的 登録者(店)がステッカーを自宅
玄関や店舗の見えやすい場所
に掲示することで、地域全体の
防犯意識の向上と犯人に対する
けん制を図るため

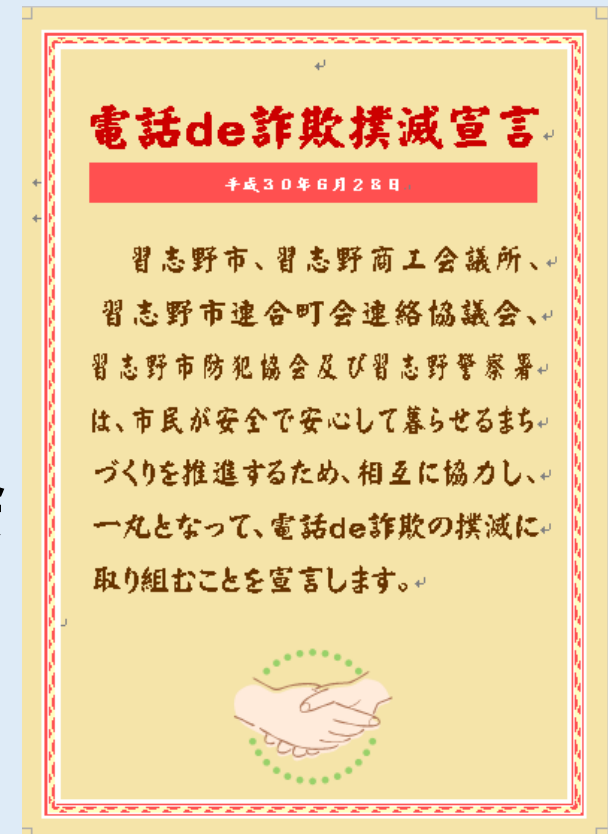


関係機関と防犯協定の締結

目的 官民一体となって「電話de詐欺」撲滅のため、各種活動を通じて、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため

協定締結機関

- ・習志野市
- ・習志野商工会議所
- ・習志野市連合町会連絡協議会
- ・習志野市防犯協会
- ・習志野警察署



小学生による防災無線放送

習志野市及び市内小学校
の協力を得て小学生児童
による防災無線放送を実
施中

(毎週水曜日の午前9時)



その他の広報啓発活動

- 会議、防犯講話、各種キャンペーン等
- 年金支給日におけるATM警戒等
- 地域警察官の合同パトロール、巡回連絡等
- 防災無線（予兆電話があった際）による広報
- ちば安全安心メールによる広報

電話de詐欺は

電話de対策

有効な詐欺対策

1 留守番電話設定

不審な電話に出ないで済む

2 ナンバーディスプレイ

相手の番号が表示される

3 迷惑電話対策サービス

迷惑電話を自動判別してブロックする

4 警告・通話録音機能

「通話内容を録音する」というメッセージを流す

まとめ

1 番大切なのは、
「防犯意識」を常に持つこと

人は横着な生き物なので、何事も面倒くさがりますが、犯人は人が油断したところを狙ってきます。

ですから、億劫がらず、防犯を習慣としてください。